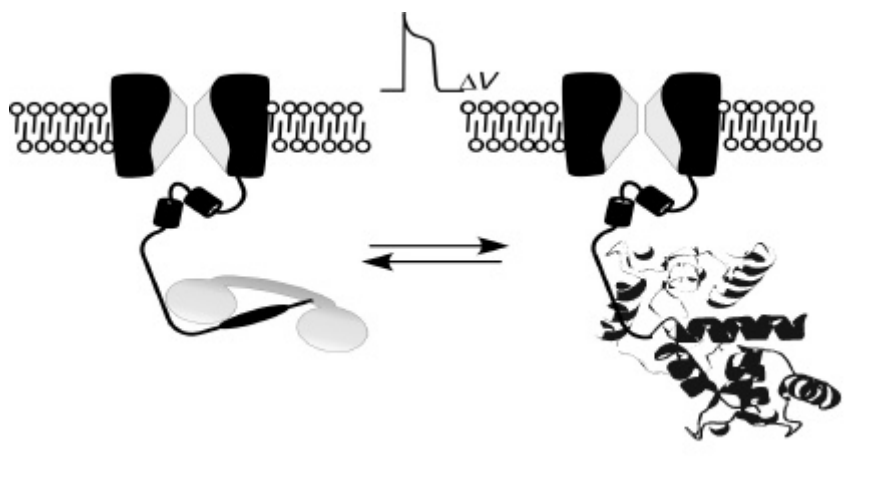


生理研研究会
「イオンチャネル・トランスポーターと心血管機能 学際的取り組みによる新戦略」
抄録集



平成 19 年 11 月 13 日 (火)・14 (水)

場所 生理学研究所 (岡崎コンファレンスセンター小会議室)

代表者

古川哲史 (東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理分野)

所内対応者

久保義弘 (自然科学研究機構生理学研究所神経機能素子研究部門)



11月13日(火)

Session 1: Discussion leader 亀山正樹 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経情報生理学)

13:00-13:25 行方衣由紀、高原 章、田中 光 (東邦大学薬学部薬物学)

“虚血-再灌流による心筋機能障害 :Na⁺/Ca²⁺交換機構阻害薬を用いた解析 ”

13:25-13:50 赤池 徹¹、横山 詩子¹、全 紅¹、石川義弘¹、南沢 享² (横浜市立大学大学院医学研究科循環制御医学¹ 早稲田大学先進理工学部生命医科学科²)

“ラット動脈管における T 型カルシウムチャンネルの役割の検討 ”

13:50-23:15 亀山正樹、韓冬雲、蓑部悦子、王午陽、はお麗英 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経筋情報生理学、中国医科大学薬学院薬理学教室)

“Cav1.2 チャンネルのカルモジュリンおよび Ca²⁺ 依存性調節 ”

14:15-14:40 森 誠之、井上隆司 (福岡大学医学部医学科生理学、福岡大学大学院医学研究科人体生物系細胞分子制御学)

“Structure of the Cav 2 IQ domain in complex with Ca²⁺ /calmodulin:

High-resolution mechanistic implications for channel regulation by Ca²⁺ ”

14:40-15:05 中瀬古寛子、赤羽悟美 (東邦大学医学部医学科薬理学講座)

“L 型 Ca²⁺チャンネル Cav1.2 と Cav1.3 の心臓ペースメーカー活動電位における役割 ”

15:05-15:30 村田光繁¹、木村 至²、矢田浩崇¹、福田恵一¹ (慶應義塾大学医学部再生医学講座¹、東京医療センター感覚器センター分子細胞生物学研究部²)

“肥大心における低分子量 G 蛋白質 Rad による L 型カルシウムチャンネル修飾について ”

15:30-15:50 コーヒーブレイク

Session 2: Discussion leader 鷹野 誠 (自治医科大学生理学講座)

15:50-15:15 西田基宏、黒瀬 等 (九州大学大学院薬学研究院薬効安全性学分野)

“心臓の病的肥大における TRPC チャンネルの役割 ”

16:15-16:40 伊豫田拓也^{1,2}、Mei-Zhen Cui¹、岩本隆宏² (テネシー大学獣医病理生物学、福岡大医学部薬理学²)

“LPA 受容体刺激によって血管平滑筋細胞に誘導される、活性酸素を介したシグナル伝達経路 ”

- 16:40-17:05 竹内 純 (東京工業大学グローバルエッジ研究院)
“エピジェネティック因子群と心臓発生、心疾患 ”
- 17:05-17:30 三輪佳子¹、李 鍾国¹、高岸芳子²、小谷 潔³、平林真澄⁴、神保泰彦³、児玉逸雄¹
(名古屋大学環境医学研究所 心・血管分野¹、名古屋大学環境医学研究所 発生・遺伝分野²、
東京大学大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻³、自然科学研究機構 生理学研究
所行動・代謝分子解析センター⁴)
“心筋における交感神経伸長と神経栄養因子 ”
- 17:30-17:55 村上慎吾、鈴木慎悟、倉智嘉久 (大阪大学医学部薬理学講座)
“G 蛋白質サイクルモデル化による心臓副交感神経系調整の再現 ”

11月14日(水)

特別講演・座長 古川哲史 (東京医科歯科大学難治疾患研究所)

- 9:00-9:50 間野博行 (自治医科大学医学部ゲノム機能研究部)
“レトロウイルスによる cDNA 発現ライブラリーを用いた肺癌原因遺伝子の発見 ”
- 9:50-10:40 末松 誠 (慶應義塾大学医学部医化学)
“メタボローム解析によるガス分子を介した生体制御機構の探索と医学応用 ”
- 10:40-11:00 コーヒーブレイク

Session 3: Discussion leader 木村純子 (福島県立医大薬理学講座)

- 11:00-11:25 石原圭子、Yan Ding-Hong (佐賀大学医学部生体構造機能学器官細胞生理分野)
“内向き整流カリウムチャネルの低親和性スペルミンブロック 細胞内領域チャネルポアの役割 ”
- 11:25-11:50 豊田 太, 丁 維光, 松浦 博 (滋賀医科大学生理学講座細胞機能生理学部門)
“心筋電気活動における KCNE タンパク質の機能的意義 ”
- 11:50-12:15 山村寿男、大矢 進、今泉祐治 (名古屋市立大学大学院薬学研究科細胞分子薬効解析学分野)
“血管平滑筋での Ca^{2+} スパークによる膜電位調節機構解明の新たな展開 ”
- 12:15-12:40 黒川洵子、古川哲史 (東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学分野)
“性周期による QT 延長症候群不整脈リスク変動のシミュレーション—プロゲステロンによる心筋イオンチャネル制御のデータを基に— ”